



10月を振り返って思うこと

校長 石崎 一敏

10月上旬には、半袖シャツで生活していた私たちですが、このところすっかり涼しくなりました。10月は多くの行事がありました。

10月16日(金)には、10月1日に就任されたばかりの室伏広治スポーツ庁長官が来校されました。保健体育の授業と部活動を見学されました。授業の様子と共に、教員の働き方改革の一環として外部から招いた部活動指導員の活動を視察されました。気さくな方で生徒にもやさしく声かけをされていました。



今年度の行事は多くの制約の中で実施されていますが、10月21日(水)に行われた山内祭は盛り上がりました。今回、合唱コンクールは実施できませんでしたが、山内祭でも山中生の力を存分に発揮してくれました。山内祭実行委員が中心になって構成したビデオ映像に思わず見入ってしまいました。リズムの整った8組の太鼓演奏から始まり、手際の良い朝食づくりを紹介した保健安全委員会やユニークなクイズを考えた図書委員会。人権作文の発表には深く考えさせられました。電源ドラムを360度の方向から描いた美術部。2年生国語科は、平家物語を劇化して分かりやすく伝えてくれました。迫力ある集団演技を見せてくれた3年生体育科のソーラン節。できれば、演劇部の劇と吹奏楽部の演奏は体育館で生で観たり聴いたりしたかったと思いました。

10月23日(金)、山内中学校区横浜子ども会議が山内コミュニティハウスで開かれ、「誰にとっても居心地のよい学校づくり」というテーマで話し合いが行われました。山内小、元石川小、新石川小、美しが丘西小の代表児童が来校し、本校からは生徒会長 磯原千颯さんが参加しました。磯原さんは司会、記録、まとめと一人三役を見事にこなしていました。

居心地のよい学校にするために、人の良いところを見つける。自分の長所を考え自信をもつ。クラスで話し合う。挨拶運動をする。学校をきれいな環境にする。いじめ防止委員会から全校へ「チクチク言葉」について発信をする。アンケートをとる。・・・などの各校の取組が発表されました。この話し合いの結果を各校に持ち帰り、検討してもらうことが確認されました。山内中の生徒の皆さんには、「人にやられていやなことは人にしない」という、当たり前のことをもう一度考えて欲しいです。

10月24日(土)は、オープンスクール。多くの保護者の方々にご参観いただき、感謝しております。その日の午後には、オリンピック・パラリンピックに向けての特別企画として、ブラインドサッカー一選手の落合啓士さんと和知梨衣菜さんをお招きして「ブラインドサッカーの魅力」についてご講演いただき、迫力ある実演もしていただきました。お二人の話から障害の有無にかかわらずチームメイトとしての思いやりや高め合いを感じることができました。

たくさんの発表場があったり、色々なお客様がいらしたりして、活気ある10月を過ごした山内中です。



目指せ唯一無二の傑作を！ 心を1つに最高の輝きを！

10月13日（火）から山内祭の演示発表が始まり、21日（水）には演示発表が行われました。

『 新たな試み 』

山内祭演示部 部門長 小野禎文



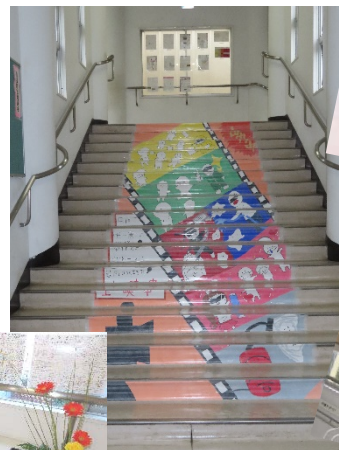
全校生徒が集まったの山内祭演示部門ができなくなったとき、山内祭実行委員に求めたのは、「できないから縮小する」ではなく、「この条件だからこそできる山内祭を作ろう」でした。実行委員もそれぞれの発表者も工夫して舞台ではできない演出を行い、どのクラスも一緒になってカウントダウンや拍手をして学校全体が盛り上がりました。生放送ならではのよさと動画ならではのよさも感じることもできました。置かれた状況を最大限に生かし、常に自分たちの可能性を探り、実践することそのものが、学校の文化を創るのだと考えれば、今回の「いつもと違う」山内祭をみんなで作り上げたことは、伝統ある山内に加えて新たな文化を築く礎ができたのではないかと思います。来年度以降、以前の山内祭と今年の山内祭が融合してさらなる進化を遂げることを楽しみにしています。

[山内祭実行委員長 展示部門代表のことば]

3年2組 池川 美優

山内祭実行委員長の池川美優です。初めに、全校生徒の皆さん、今年は新型コロナウイルスの影響がある中でも適切な行動をとり、協力してくださり本当にありがとうございました。

今年の展示は、「山中バスターズが新型コロナウイルスをやっつける」をテーマに階段アートや大パネルを作りました。演示では、例年は体育館で観賞しているところを、今年は例年とは違い、教室でテレビ放送を見るものになってしまいましたが、楽しむことはできましたか。ライブで行っている団体もありましたね。生で見るのとは違う面白さや感動があったと思います。皆さんがこの山内祭を通して少しでも笑顔や幸せな気持ちになれば、私たち実行委員もうれしいで



[演示部門代表のことは]

3年5組 家田 愛華

山内祭お疲れさまでした。皆さんにとって山内祭はどのようなものでしたか。私は沢山学ぶことができました。その中で皆さんに一番お伝えしたいのは、周りの人が支えてくれることの大切さです。委員会発足当初、代表としての責任への不安が大きかったのですが、委員会の皆さんや先生方に支えていただいたお陰で、無事に山内祭を終えることができました。そして周りの人に支えられていることを実感できた瞬間でした。これからは私自身が誰かを支えることができる人になりたいです。

全校生徒が笑顔になれるような山内祭が、これからもずっと続いて行って欲しいと思います。



[合唱部門代表のことは]

3年5組 大野 真由

改めて、山内祭お疲れさまでした。山内祭実行委員のメンバーは例年と違ったスケジュールの中で、様々な工夫をこらして活動しました。委員会発足当初、合唱部門長として「私が全校をひっぱっていかねば。」と気負っていましたが、実行委員の人たちや他のみなさんのおかげで、リラックスして臨むことができました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、みなとみらいホールでの合唱コンクールができなくなってしまいました。その代わりに企画した「にじ」は、今までとは違う方法での合唱となり、ビデオでの収録も上手くいくか不安でしたが、みなさんの協力のおかげで成功させることができました。短い間でしたが、本当にありがとうございました。



*山内祭の合唱部門とPTA祭は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、今年度

は中止とさせていただきます。また、全国学力状況調査も行われませんでした。

12月の主な予定

- 12月 1日(火)～ 7日(月) 個人面談
- 10日(木) 租税教室(3年)
- 22日(火) 人権講演会
- 24日(木) 大掃除
- 26日(土)～1月5日(火) 冬季休業

